

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表  
 ≪省令で定める単位数等の基準数相当分≫

	担当教員名	授業科目名	配当年次	単位数	授業内容(どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
1	小川 利政	X線撮影技術学Ⅱa	2	1	臨床現場において、消化管造影検査を中心に診療放射線技術業務に従事し、30年以上の経験を有する。X線造影画像を構築するために必要なX線造影剤の概要、検査部位の解剖とそのX線画像、検査法及び造影手技、X線画像解剖、主要疾患の読影について症例を供覧して、
2	小川 利政	X線撮影技術学Ⅱb	2	1	臨床現場において、消化管造影検査を中心に診療放射線技術業務に従事し、30年以上の経験を有する。X線造影画像を構築するために必要な検査部位の解剖とそのX線画像、検査方法及び検査手技、主要疾患の読影についての講義を行う。
3	佐々木 雅史 他	放射線技術学実習Ⅰ	2	1	診療放射線技師として業務経験を有する教員が画像検査装置を用いた検査方法等について指導する。
4	高木 聡志 他	放射線技術学実習Ⅲ	3	1	診療放射線技師として業務経験を有する教員が画像検査装置を用いた検査方法等について指導する。
5	保木 昌徳	臨床医学	2	1	医師としての経験を活かし、この授業では、臨床医学の理解に必要な解剖・組織学、その他の基礎的事項の解説を加えながら、病変や疾患の本質および臨床医学の実際について論じ、学生に、病気(疾病)についての総合的な理解、病理・病態学的専門用語や医学用語、各臓器に共通する基本的な病変や病因(病態)の理解をさせる。
6	島雄 大介	X線画像機器学Ⅱ	2	1	診療放射線技師としての各種医療施設での臨床経験を有する教員が、その経験をもとに講義する。
7	佐々木 雅史	診療画像機器学	2	1	大学病院等で15年以上の勤務経験を有する教員が医療現場での実務経験の中で得た知識を含めてMR装置の原理、臨床に必要な安全管理および検査技術について解説する。
8	佐々木 雅史	臨床実習ゼミナールⅠ	3	1	診療放射線技師として実務経験を有する教員が、臨床実習における心構えや知識について解説する。
9	佐々木 雅史・高木 聡志	臨床実習ゼミナールⅡ	3	1	診療放射線技師として実務経験を有する教員が、臨床実習における心構えや知識について解説する。
10	小川 利政・高木 聡志	撮影技術学ゼミナール	4	2	臨床現場において、診療放射線技術業務に従事した経験豊富な技師免許を有する教員が解説する。診療放射線技師が修得すべきX線撮影技術及び放射線防護に関係する内容を発展的に学修する。
11	西 環	放射線治療技術学ゼミナール	4	2	診療放射線技師としての実務経験を通し、関連する科目の連続性を加味しながら、基礎と臨床を結び付けた講義と演習を行う。

合計 13